

名古屋市は 地域猫活動を支援します

※ 地域猫活動とは、地域にお住まいの方が飼主のいない猫（のら猫）に避妊去勢手術を行い、周辺住民の理解の下に適切なエサやりや周辺の清掃などを行うことをいいます。また、避妊去勢手術のみを行うことをTNR活動（捕獲（Trap）し、避妊去勢手術を実施（Neuter）した後に元の場所に戻す（Return）活動）といえます。

飼主のいない猫に関する相談が、寄せられています。

庭に、
フン尿をされる

地域で子猫が
うまれている

猫の鳴き声
うるさい

交通事故にあう
猫がかわいそう



「捕獲した猫を処分すれば、猫がいなくなって良いのでは？」

猫をみだりに殺したり傷つけたりすることは、動物愛護法違反となります。

保健センターや動物愛護センターは猫の捕獲は行っていません。

「エサやりを禁止すれば良いのでは？」

猫は1カ所のエサ場がなくなっても、他のエサ場を見つけるか、ごみを荒らすなどし、テリトリーを離れることはないと言われています。エサの有無にかかわらず、猫は本能に従って繁殖するのです。エサやりを禁止するだけでは、問題は解決しません。

では、どうしたら良いでしょうか？ 解決のためには **地域猫活動** です。

地域が力を合わせて取り組むことで

- 避妊去勢手術を行うことで新たな子猫が生まれず、猫が徐々に減っていきます。
- トイレの場所を決めて管理することで、フン尿の被害が少なくなります。
- 地域の交流が豊かになり、猫の遺棄や虐待の防止意識が高まります。

地域にお住まいの方の活動を行政やボランティアが協力、支援します。

地域住民

- トイレの設置・清掃
- エサの管理
（置きエサはしない）
- 避妊去勢手術 など

行政

- 飼主のいない猫対策
の普及啓発
- 避妊去勢手術費用の
支援 など

ボランティア

- 猫の保護方法の助言
- ルールづくりの助言
など

まずは**避妊去勢手術（TNR活動）**から始めてみませんか。

目的: 野良猫を地域猫化し、野良猫をゼロを目指す。

「地域猫活動」とは、野良猫を飼育主のいない迷惑猫として放置するのではなく、避妊去勢手術を行い、一定の管理を行い、地域で見守り、迷惑猫 = 不飼猫を減らしていくこと。

経過: 2022年7月、1匹の地域猫があらわれる。
病気を発症していた為、保護し、手術。
手術費のみで150万。
当方に完全室内飼いで現在も適育中。

2023年4月、3匹あらわれる
1匹は去勢済み。
2匹は人慣れ訓練中。慣れたら保護 → 去勢手術 → (オス)
検査の結果健康であれば「NPO団体へ委託 → 譲渡先を模索。
↳ 健康であれば「地域猫として見守り。」

2023年8月、2匹あらわれる
1匹は子猫 → 保護 → 避妊手術・検査 → NPO団体へ委託
1匹は生後半年度、餓死寸前 → 保護 → 検査 → NPO団体へ委託

猫の委託: ボランティア、NPO団体により資金の差があるものの、一般的に委託時、1匹の病院検査、ワクチン等3万程度。譲渡先が決まるまで委託費用が毎月2万弱。

複数の猫だと、当方の力不足により、困難があり、他の猫に代わって地域猫として名古屋市の支援を借りたいと考えております。

名古屋市の支援とは... ごはん+水+おしり洗いが置いてある餌皿にきた猫に対して、保護し、去勢避妊手術費を名古屋市が負担。

猫の迷惑行為がお困りの方に、無料レンタルの猫エサ+相談窓口がござります。(個別相談)

名古屋市の支援をうけるには、キャットサポーターが2人と、自治会長以上のサインが必要となります。

名古屋市人とペットの共生サポートセンター: 052-681-2211

避妊去勢手術を行い、一代限りの猫にすることで個体数を減らせます。地域猫の寿命は3~5年程度と短命です。2023:10.29. 小川京子